

福井県内の原子力発電所の運転実績等について
 (平成20年度)

1. 運転実績の総括

平成20年度における県内原子力発電所13基(出力合計 1,128.5万kW)合計の稼働実績は、

	[平成20年度実績]	[平成19年度実績]
発電電力量	658.0 億kWh	698.4 億kWh
時間稼働率	66.0 %	66.2 %
設備利用率	66.6 %	70.5 %

であり、年度当初の計画(設備利用率で72%)を大きく下回るとともに、県内の商業用原子炉13基が営業運転を開始した平成5年度以降、最も低い実績であった。

その理由としては、加圧水型炉6基(敦賀2号機・美浜2号機・大飯3号機・高浜2号機・3号機・4号機)で、蒸気発生器等の600系ニッケル基合金溶接部での応力腐食割れによる傷の補修工事と、高圧タービン車室からの蒸気漏れの補修工事(敦賀2号機)のため、それぞれ、定期検査期間が長期化したことが原因であった。

その他の発電所については、ほぼ計画通りに運転が行われた。

[表-1～表-4, 図-1～図-3]

表-1 稼働実績(総括)

項目 炉型	発電電力量 (億kWh)	時間稼働率 (%)	設備利用率 (%)
沸騰水型炉 (BWR; 1基)	15.1	51.5	48.4
加圧水型炉 (PWR; 12基)	642.9	67.2	67.2
県内合計 (13基)	658.0	66.0	66.6

問い合わせ先(担当:神戸)
 内線2354・直通0776(20)0314

2. 運転状況

事故等により発電に支障を与えた事象は、敦賀1号機での原子炉再循環ポンプメカニカルシール部の機能低下に伴う原子炉手動停止（2回）や、美浜1, 2号機で送電線への落雷による原子炉自動停止など、県内全体で5件（うち原子炉停止は4件）あり、これらによる発電損失量は、約34億kWhであった。

定期検査による発電損失量（稼働率の損失分）は、全体で32.4%と近年の実績と比較しても最も大きかった。

[表-4, 図-3]

(1) 定期検査

今年度の期間中に定期検査を終了した発電所11基での定期検査期間（調整運転期間も含む）を合計した平均月数は7.9ヶ月と例年より長くなった。

最も短い期間は、大飯1号機（第22回定期検査）で86日間（H20.6.4～H20.8.28）、最も長い期間は敦賀2号機（第16回定期検査）の566日間（H19.8.26～H21.3.13）*であった。

定期検査における大型工事として、敦賀2号機、高浜3号機において原子炉容器上部ふた取替工事が行われ、県内の全ての加圧水型原子炉で取り替えが完了した。また、既設設備の耐震性を一層向上させるため耐震裕度向上工事が各発電所で引き続き行われている。

※蒸気発生器入口管台溶接部の傷、高圧タービン車室からの蒸気漏れに対応するため、定期検査を大幅に延長した。

[表-5, 表-10, 図-1]

(2) 運転月数

昨年の定期検査終了（営業運転再開）から今年度の定期検査開始までの運転月数の平均（対象7基）は11.7ヶ月と近年の実績とほぼ同じ期間であった。

[表-6, 図-1]

(3) 異常事象

安全協定に基づき報告された異常事象は21件あり、いずれの事象においても周辺環境への放射能の影響はなかった。なお、法律に基づく国への報告対象事象は7件あり、国際原子力事象評価尺度（INES）では、「1」と「0+」が1件ずつ、「0-」が4件であった。

異常事象21件の内訳として、原子炉停止が4件、出力抑制が1件、機器の故障等が8件、労働災害が4件であった。

[表-7～表-9, 図-4]

3. 輸送実績

新燃料集合体、低レベル放射性廃棄物および使用済燃料の輸送実績は、表-11～13に示すとおりであった。

4. もんじゅ

平成18年7月、原子力機構から安全協定に基づき提出されていた「初装荷燃料の変更計画に係る事前了解願い」については、平成20年4月26日に了解した。

平成19年8月31日から実施しているプラント確認試験については、平成20年11月27日までに全141項目中133項目が終了した。残り8項目については、屋外排気ダクトの補修工事終了後に実施予定。

試験運転再開の工程については、

- ・年度当初の計画は「平成20年10月」に試験運転再開を予定。
- ・平成20年8月、ナトリウム漏えい検出器の点検作業が長期化したこと等により、試験運転再開時期を「平成21年2月」に変更。
- ・平成21年1月、屋外排気ダクトの補修工事等により、今後の工程については、耐震安全性の取り組み状況等を踏まえ、関係省庁と協議した上で改めて報告することとした。

[図－5]

5. 敦賀3，4号機建設準備工事

建設準備工事は、平成16年7月の工事着手以降計画通り進捗しており、平成21年3月末での進捗率は、約94%である。

平成20年度は、防波堤・護岸工事と敷地造成工事を実施しており、防波堤・護岸工事として、越波排水路の構築が12月19日に完了した。

また、敷地造成工事として、原子炉建屋予定地の背後山地の切取工事および切取土による埋立て工事を実施しており、掘削を計画している量(158万m³)のうち157万m³の掘削が完了している。

表－２ 平成20年度稼働実績（号機別）

項目 発電所名	発電時間 (時間)	発電電力量 (億kWh)	時間稼働率 (%)	設備利用率 (%)
敦賀発電所 1号機	4,512	15.1	51.5	48.4
敦賀発電所 2号機	2,037	23.3	23.3	23.0
美浜発電所 1号機	6,695	22.9	76.4	77.2
美浜発電所 2号機	5,838	29.1	66.6	66.5
美浜発電所 3号機	7,025	60.0	80.2	83.0
大飯発電所 1号機	7,320	86.0	83.6	83.6
大飯発電所 2号機	7,474	89.6	85.3	87.1
大飯発電所 3号機	3,463	41.0	39.5	39.7
大飯発電所 4号機	6,630	79.1	75.7	76.6
高浜発電所 1号機	6,345	54.4	72.4	75.2
高浜発電所 2号機	6,279	54.0	71.7	74.7
高浜発電所 3号機	5,768	51.6	65.8	67.8
高浜発電所 4号機	5,801	51.2	66.2	67.3
合計	75,187	658.0	66.0	66.6

注) 発電電力量は切り捨て、その他は四捨五入のため、合計はあわないことがある。

図一 1 運転実績概要図（平成20年度）

注：（ ）内の日数は発電停止日数

機名	平成20年度												設備利用率 年度当初計画*
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(H21)1月	2月	3月	
敦賀1号機	①原子炉再循環ポンプメカニカシールの機能低下に伴う原子炉手動停止 原子炉給水ポンプの点検に伴う出力抑制												48.4%
敦賀2号機	15	① (18日)	1	16	31	4	19	7	第32回定期検査				58%
美浜1号機	第16回定期検査(349日)												23.0%
美浜2号機	第23回定期検査(91日)												77.2%
美浜3号機	第24回定期検査(377日)												66.5%
大飯1号機	第22回定期検査(61日)												83.0%
大飯2号機	第23回定期検査(73日)												87.1%
大飯3号機	第13回定期検査(280日)												39.7%
大飯4号機	第12回定期検査(90日)												76.6%
高浜1号機	第25回定期検査(114日)												75.2%
高浜2号機	第24回定期検査(297日)												74.7%
高浜3号機	第18回定期検査(255日)												67.8%
高浜4号機	第18回定期検査(124日)												67.3%
											県内平均	66.6%	7.2%

*1：年度当初計画の設備利用率は、事故・故障等による損失（4%）を考慮している。

凡例：
 停止期間
 調整運転
 運転期間
 事故停止

図-2 稼働状況の推移

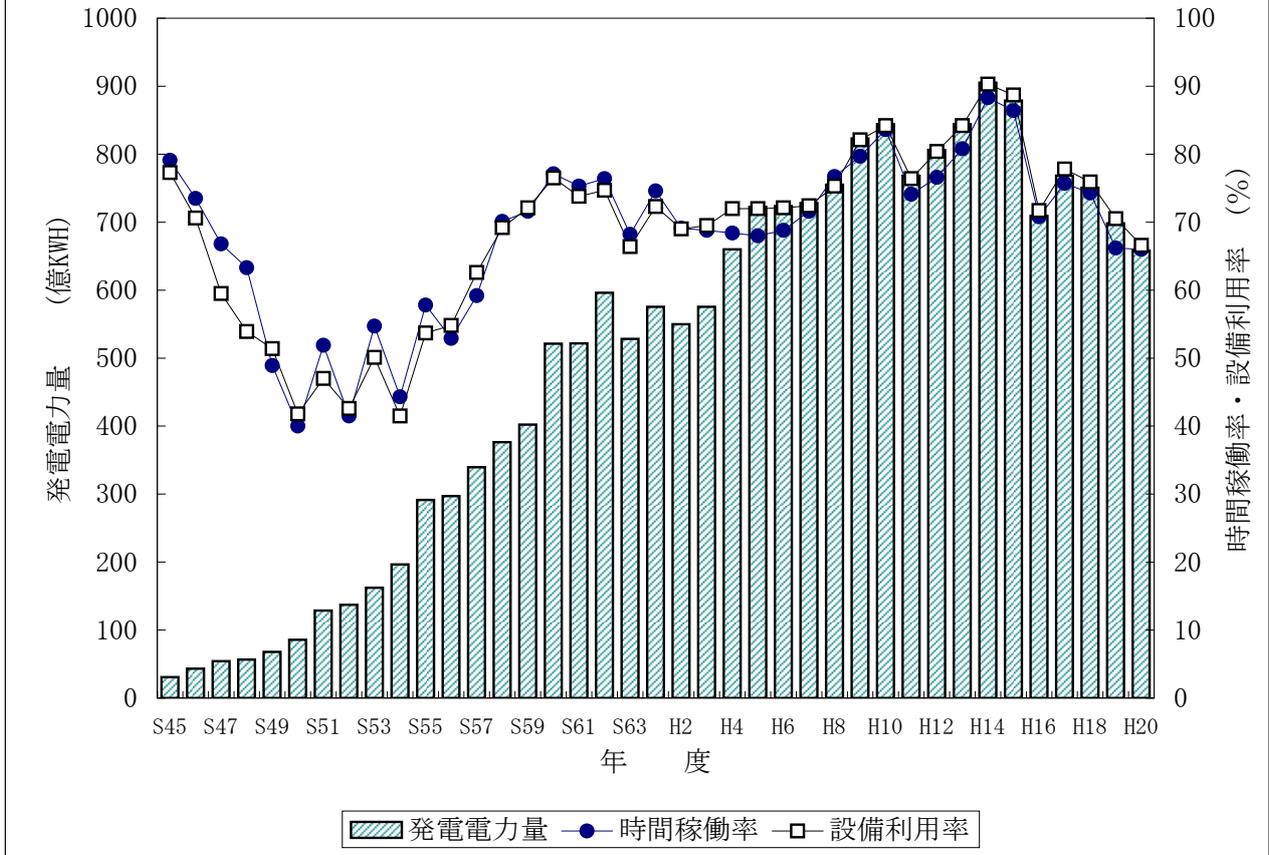


表-3 県内原子力発電所の年度別稼働実績

年 度	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54
発電電力量 (億kWh)	30.7	43.2	54.2	56.5	67.9	85.8	128.6	137.1	162.3	196.6
時間稼働率 (%)	79.1	73.5	66.8	63.3	48.9	40.0	51.9	41.5	54.7	44.3
設備利用率 (%)	77.3	70.6	59.5	53.9	51.4	41.8	47.0	42.6	50.1	41.5
設備容量 (万kW)	69.7	69.7	119.7	119.7	202.3	284.9	367.5	367.5	501.5	619.0
基 数	2	2	3	3	4	5	6	6	8	9
年 度	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1
発電電力量 (億kWh)	291.4	297.0	339.4	376.4	402.2	521.2	521.8	596.2	528.3	575.6
時間稼働率 (%)	57.8	52.9	59.2	70.1	71.6	77.1	75.3	76.4	68.2	74.6
設備利用率 (%)	53.7	54.8	62.6	69.2	72.1	76.5	73.8	74.7	66.4	72.3
設備容量 (万kW)	619.0	619.0	619.0	619.0	706.0	793.0	909.0	909.0	909.0	909.0
基 数	9	9	9	9	10	11	12	12	12	12
年 度	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11
発電電力量 (億kWh)	549.8	575.5	660.0	722.4	723.7	728.1	755.0	823.1	844.0	768.3
時間稼働率 (%)	69.1	68.8	68.4	68.0	68.8	71.6	76.7	79.7	83.6	74.1
設備利用率 (%)	69.0	69.5	72.0	72.0	72.1	72.4	75.3	82.1	84.2	76.4
設備容量 (万kW)	909.0	1,027.0	1,145.0	1,145.0	1,145.0	1,145.0	1,145.0	1,145.0	1,145.0	1,145.0
基 数	12	13	14	14	14	14	14	14	14	14
年 度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	
発電電力量 (億kWh)	806.4	844.1	905.2	878.9	709.2	768.6	750.6	698.4	658.0	
時間稼働率 (%)	76.6	80.8	88.3	86.4	70.8	75.7	74.3	66.2	66.0	
設備利用率 (%)	80.4	84.2	90.3	88.7	71.7	77.8	75.9	70.5	66.6	
設備容量 (万kW)	1,145.0	1,145.0	1,145.0	1,128.5	1,128.5	1,128.5	1,128.5	1,128.5	1,128.5	
基 数	14	14	14	13	13	13	13	13	13	

注：設備容量および基数は当該年度末の数字

図-3 年度別設備利用率・発電損失内訳

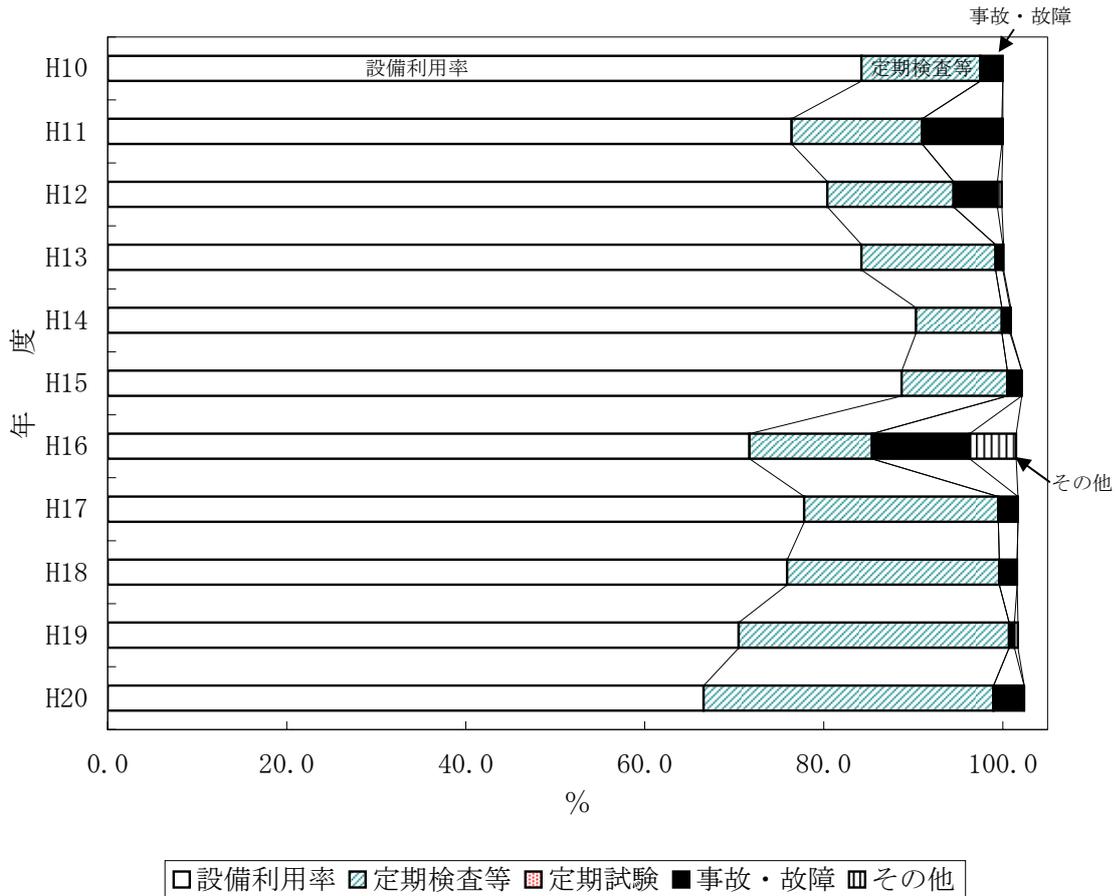
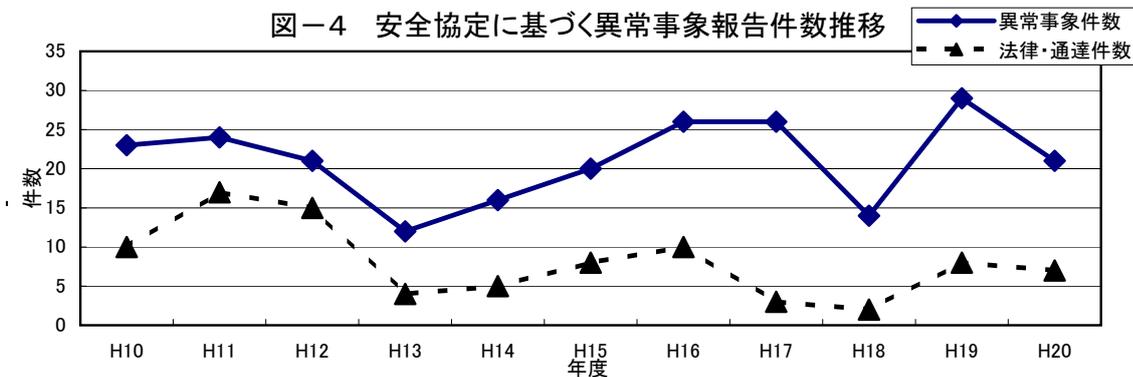


表-4 年度別設備利用率・発電損失内訳

年度	設備利用率	定期検査等	定期試験	事故・故障	その他	合計
H10	84.2	13.3	0.0	2.5	0.0	100.0
H11	76.4	14.6	0.0	8.9	0.1	100.0
H12	80.4	14.1	0.0	4.9	0.5	100.0
H13	84.2	15.0	0.0	0.8	0.1	100.0
H14	90.3	9.6	0.0	0.9	0.1	* 100.9
H15	88.7	11.8	0.0	1.6	0.0	* 102.1
H16	71.7	13.7	0.0	10.9	5.2	* 101.5
H17	77.8	21.7	0.0	2.2	0.0	* 101.7
H18	75.9	23.7	0.0	2.0	0.0	* 101.6
H19	70.5	30.2	0.0	0.6	0.4	* 101.7
H20	66.6	32.4	0.0	3.4	0.0	* 102.4

* H14より定格熱出力一定運転を導入したため、設備利用率と発電損失の合計は100%を超えている。



表－５ 定期検査期間の推移（当該年度期間内に終了した定期検査の日数）

年 度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
平均日数	82	100	147	98	91	82	114	119	217	177	237
平均月数	2.7	3.3	4.9	3.3	3.0	2.7	3.8	4.0	7.2	5.9	7.9

（注）・定期検査期間＝定期検査開始から定期検査終了（営業運転再開）までの期間
 ・平均月数＝平均日数／30日
 ・平成15年度以降は、ふげんの定期検査は含まない

表－６ 運転月数の推移

年 度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
運転月数	12.7	12.3	12.1	12.6	12.8	13.0	12.7	11.4	12.1	10.7	11.7

（注）・当該年度期間内に定期検査を開始したプラントについて、前回の定期検査終了（営業運転再開）から定期検査開始までの期間（故障等による停止期間は除く）を運転月数（日数／30日）の平均
 ・新規プラントの第1サイクルは除く。

表－７ 運転中のトラブルによる運転停止頻度の推移（試運転を除く）

年 度		H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
自動 停止	件数	1	2	1	0	0	1	2	1	1	0	1
	頻度	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1
手動 停止	件数	1	6	4	1	5	4	3	3	3	4	3
	頻度	0.1	0.6	0.4	0.1	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3
全体	件数	2	8	5	1	5	5	5	4	4	4	4
	頻度	0.2	0.8	0.5	0.1	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5

（注）頻度＝年度内の件数／（年度内の総原子炉運転時間／暦時間）
 四捨五入のため合計は合わないことがある

表－８ 安全協定に基づく異常事象報告件数の推移

年 度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
件 数	23	24	21	12	16	20	26	26	14	29	21
法律・通達件数	10	17	15	4	5	8	10	3	2	8	7

表-9 平成20年度安全協定に基づく異常事象報告一覧

	発電所名	発生日	事象発生時 運転状況	事象概要	影響等	国への報告区分
		終結日				評価尺度
原子炉停止	敦賀1号機	H20. 5. 14	運 転 中	原子炉再循環ポンプメカニカルシールの機能低下に伴う原子炉手動停止	手動停止	—
		H20. 6. 1				—
	敦賀1号機	H20. 7. 15	運 転 中	原子炉再循環ポンプメカニカルシールの機能低下に伴う原子炉手動停止	手動停止	—
		H20. 7. 31				—
	敦賀2号機	H20. 9. 16	運 転 中	高圧タービン車室からの蒸気漏れに伴う原子炉手動停止	手動停止	法律
		H20. 3. 13				対象外
美浜発電所	H20. 11. 20 H20. 11. 23	1,2号機:運転中	送電系統への落雷による1,2号機の自動停止と3号機の系統単独運転	1,2号機:自動停止 3号機:出力抑制	—	
		3号機:調整運転中			—	
出力抑制	敦賀1号機	H20. 9. 4	運 転 中	原子炉給水ポンプの点検に伴う出力降下	出力抑制	—
		H20. 9. 19				—
機器の故障等	もんじゅ	H20. 4. 1	建 設 中	落雷影響の波及に伴う瞬時電圧低下による2次主循環ポンプモーターの停止	—	—
		H21. 3. 24				—
	大飯3号機	H20. 5. 26	定期検査中	原子炉容器出口管台溶接部での傷	—	法律
		H20. 12. 4				0-
	敦賀2号機	H20. 7. 23	定期検査中	タービン動補助給水ポンプ起動入口弁の動作不良	—	法律
		H20. 8. 1				0-
	大飯4号機	H20. 8. 19	運 転 中	1次冷却材中の放射能濃度の上昇(燃料集合体の漏えい)	—	—
		H20. 10. 12				—
	もんじゅ	H20. 9. 9	建 設 中	屋外排気ダクトの腐食孔の確認	—	法律
						1
	高浜4号機	H20. 9. 22	定期検査中	蒸気発生器伝熱管の損傷	—	法律
		H20. 12. 24				0-
高浜4号機	H20. 10. 3	定期検査中	蒸気発生器入口管台溶接部での傷	—	法律	
	H20. 12. 24				0-	
敦賀1号機	H20. 12. 11	定期検査中	中央制御室換気空調系外気取り入れダクトの腐食	—	法律	
					0+(暫定)	
の待制機限除の外逸や脱運等転上	敦賀1号機	H20. 4. 17	運 転 中	可燃性ガス濃度制御系の流量調整弁動作不良に伴う待機除外	—	—
		H20. 5. 2				—
	美浜2号機	H20. 7. 21	定期検査中	A-余熱除去ポンプ軸封部の不調に伴う運転上の制限の逸脱	—	—
		H20. 7. 25				—
	美浜1号機	H20. 12. 3	運 転 中	タービン動補助給水ポンプの運転上の制限の逸脱	—	—
		H20. 12. 6				—
大飯3号機	H21. 1. 5	運 転 中	原子炉熱出力の運転上の制限の逸脱	—	—	
	H21. 1. 13				—	
労働災害	大飯1号機	H20. 7. 27	定期検査中	管理区域内での作業員の体調不良	—	—
		H20. 8. 4				—
	大飯3,4号機	H20. 9. 8	3号機:定期検査中	海水淡水化装置建屋での作業中の負傷	—	—
		H20. 9. 12	4号機:運 転 中			—
	敦賀1号機	H21. 2. 27	定期検査中	タービン建屋での協力会社作業員の負傷	—	—
		H21. 3. 4				—
	大飯2号機	H21. 3. 12	定期検査中	取水路壁面の防汚塗装工事における協力会社作業員の負傷	—	—
		H21. 3. 19				—

表-10 主要設備の増設改造工事実績

(1) 日本原子力発電株式会社

工 事 件 名	敬 賀		工 事 概 要
	1号機	2号機	
原子炉容器上部ふた取替えおよび保管庫設置	—	H21.3 完了	管台部の応力腐食割れ予防保全として、材料や溶接形状を改善した新しい原子炉容器上部ふたに取り替えた。原子炉容器上部ふたの保管のため、原子炉容器上部ふたの保管庫を発電所構内に設置した。
蒸気タービン取替工事	—	H21.3 完了	低圧タービン円板での応力腐食割れ予防保全対策として、全一体型ロータ構造および最新の翼形状等を採用した低圧タービンに取り替えた。また、併せて、高圧タービンについても信頼性向上の観点から低圧タービンと併せて取り替えた。
耐震裕度向上工事 (支持構造物補強工事)	H19.2～ 実施中	H19.8～ 実施中	1号機では平成19年度に実施した第31回定期検査で、格納容器冷却系等の配管や中央制御室換気空調系のダクトのサポートの強化工事を実施した。平成20年度に開始した第32回定期検査では、原子炉再循環系等の配管サポート等について、強化工事を実施している。また、2号機は平成19年度から20年度に実施した第16回定期検査で、加圧器逃がしライン等の配管サポートの強化工事を実施した。
耐震裕度向上工事 (取水系構造物補強工事)	H20.1～ 実施中	—	取水系構造物を金属製の矢板等により補強し、耐震性を向上させる (H20.1～)。
耐震裕度向上工事 (地震随伴事象対応工事)	H20.8～ 実施中	—	地震時における原子炉建屋背後斜面の安定性を向上させるため、アンカー工法等により補強している (H20.8～)。また、既設設備の津波対策として、取水系構造物に海水貯水槽を設置している (H20.11～)。
一次冷却系温度計ウエル修繕工事	—	H20.7 完了	流体による共振の可能性が確認された一次冷却系低溫側狭域温度計ウエル (合計8箇所) について、共振の可能性のない構造のものに取り替えた。
耐震対応強化工事 (新潟県中越沖地震 対応工事)	H21.2 実施中	—	新潟県中越沖地震で得られた知見を踏まえ、消火水源のタンクの耐震補強や消火用水タンクの追設、屋外の埋設消火配管の地上化、耐震性防火水槽の設置、所内変圧器の火災監視用カメラの設置等を実施している (H21.2～)。また、発電所の地震データを本店に自動転送する装置を設置するとともに、地震計を追設している (H21.2～)。

<凡例> — : 工事計画対象外 △ : 工事計画あり * : 検討中

(2) 独立行政法人 日本原子力研究開発機構

工 事 件 名	も ん じ ゅ	ふ げ ん	工 事 概 要
耐震裕度向上工事 (取水口ポンプ室 津波対策工事)	H21.1 完了	—	海水ポンプを設置している取水口ポンプ室に海水が流れ込まないよう、防水壁を設置するとともに取水口ポンプ室内のグレーチング開口部をボルト固定の鉄板で閉止した。

<凡例> — : 工事計画対象外 △ : 工事計画あり * : 検討中

(3) 関西電力株式会社

工 事 件 名	美浜発電所			大飯発電所				高浜発電所				工 事 概 要
	1号機	2号機	3号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	
原子炉容器上部ふた 取替工事	H13.8 完了	H11.12 完了	H 9.2 完了	H12.12 完了	H11.8 完了	H18.12 完了	H19.8 完了	H 8.8 完了	H 9.6 完了	H20.8 完了	H19.7 完了	管台部の応力腐食割れ予防保全として、材料や溶接形状を改善した原子炉容器上部ふたに取り替えた。
廃液蒸発装置他 取替工事	△	—	△	△	—	—	—	H20.10～ 実施中	—	—	—	設備の信頼性向上の観点から、廃液蒸発装置を、浸漬方式から強制循環式に変更するとともに伝熱管等を耐食性に優れた材料に取り替えている。
ほう酸回収系統 改造工事	—	—	—	H20.9～ 実施中	—	—	—	—	—	—	—	設備の信頼性および運用性の向上の観点から、ほう酸回収装置1基とほう酸補助タンク1基を増設する。また、使用していないほう酸熱再生装置を撤去している。
洗たく排水処理設備 設置（取替）工事	—	—	—	△ （取替）	H20.9～ 実施中 （設置）	—	—	△ （取替）	△ （取替）	△ （取替）	—	環境への配慮から、現在設置されているドライクリーニング設備を撤去し、新たに節水型洗濯機と、膜分離活性汚泥処理方式の洗たく排水処理設備を設置している。
海水淡水化装置一部 撤去工事	該当設備なし			H20.9 完了				—				5基ある海水淡水化装置のうち、製作メーカーが異なり、稼働率の低い装置1基を運転操作性および保守性の観点から撤去した。
耐震裕度向上工事 （支持構造物補強工事）	H20.4～ 実施中	H19.7～ 実施中	H19.6～ 実施中	H20.6～ 実施中	H19.10～ 実施中	H20.3～ 実施中	H20.9～ 実施中	H20.4～ 実施中	H19.8～ 実施中	△	H20.11 完了	クレーラ等の機器や配管、空調ダクトの支持構造物の強化工事を行い、耐震性を向上させている。
耐震裕度向上工事 （地盤改良工事）	H21.2 完了	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	取水構造物周辺の地盤の強度を高め、耐震性を向上させた。
耐震対応強化工事 （新潟県中越沖地震 対応工事）	H20.10～ 実施中			H20.10～ 実施中				H20.10～ 実施中				新潟県中越沖地震を踏まえ、消防自動車の車庫の増設や、自衛消防隊詰所の設置、地震計の設置・取替等を実施している。
2次系熱交換器他 取替工事	—	—	H17.8 完了	H20.7 全完了	H18.8 全完了	H15.2 完了	H15.7 完了	H16.6 全完了	H17.2 全完了	H18.11 全完了	H18.2 全完了	2次系給水系統の水質の向上および復水器からの海水漏えい防止のため、給水加熱器伝熱管はステンレス製の復水器の伝熱管はチタン製に取り替えた。
昇圧変圧器 取替工事	—	—	—	—	—	—	—	H20.7 完了	△	—	—	設備の信頼性維持の観点より、予防保全対策として昇圧変圧器一式を取り替える。

<凡例> —：工事計画対象外 △：工事計画あり *：検討中 完了：一回の工事で実施 全完了：複数回の工事で実施

表-11 新燃料集合体輸送実績

発電所	輸送体数	発送元	到着日
敦賀2号機	24	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成20年9月9日
	20	三菱原子燃料(株)	平成20年9月17日
	20	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成20年9月24日
もんじゅ	18	(独)日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター	平成20年5月16日
	14	(独)日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター	平成20年7月18日
	6	(独)日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター	平成20年12月16日
美浜1号機	16*	三菱原子燃料(株)	平成21年3月11日
	8*	三菱原子燃料(株)	平成21年3月18日
美浜3号機	16	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成20年4月15日
	16	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成21年3月13日
	20	三菱原子燃料(株)	平成21年3月18日
大飯1号機	16	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成20年10月1日
	28	三菱原子燃料(株)	平成20年12月12日
大飯2号機	28	三菱原子燃料(株)	平成20年9月10日
	24	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成20年10月7日
大飯3号機	36	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成21年3月17日
	16	三菱原子燃料(株)	平成21年3月25日
高浜1号機	20	三菱原子燃料(株)	平成20年9月2日
	12	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成20年12月2日
	16	原子燃料工業(株)熊取事業所	平成20年12月5日
高浜2号機	16	三菱原子燃料(株)	平成20年8月22日
	16	三菱原子燃料(株)	平成20年8月27日
高浜3号機	20	アレバNP社	平成20年10月29日
	40	三菱原子燃料(株)	平成21年3月3日
合計	466		

※ 補助建屋クレーン定期修繕作業などとの輻輳を回避するため、平成21年度に輸送を計画していたものを前倒しして実施した。

表-12 低レベル放射性廃棄物輸送実績

発電所	輸送体数 ドラム缶数(200リットル)	輸送先	発電所 出港日
敦賀	384体 (均質固化体)	日本原燃(株) 六ヶ所低レベル 放射性廃棄物 埋設センター	平成20年10月25日
美浜	160体 (均質固化体) 1,200体 (充てん固化体)		平成20年10月12日
高浜	1,200体 (充てん固化体)		平成20年11月4日

表-13 使用済燃料輸送実績

発電所	体数	燃料種類	輸送先	搬出日
敦賀1号機	128	ウラン燃料	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成20年9月
美浜1号機	30	ウラン燃料	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成21年3月
美浜3号機	28	ウラン燃料	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成21年3月
大飯1号機	8	ウラン燃料	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成20年4月
	31	ウラン燃料	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成20年10月
大飯2号機	20	ウラン燃料	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成20年4月
	25	ウラン燃料	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成20年10月
大飯4号機	28	ウラン燃料	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成21年3月
高浜2号機	42	ウラン燃料	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成20年10月
高浜3号機	56	ウラン燃料	日本原燃(株) 六ヶ所再処理工場	平成21年3月
合計	396			

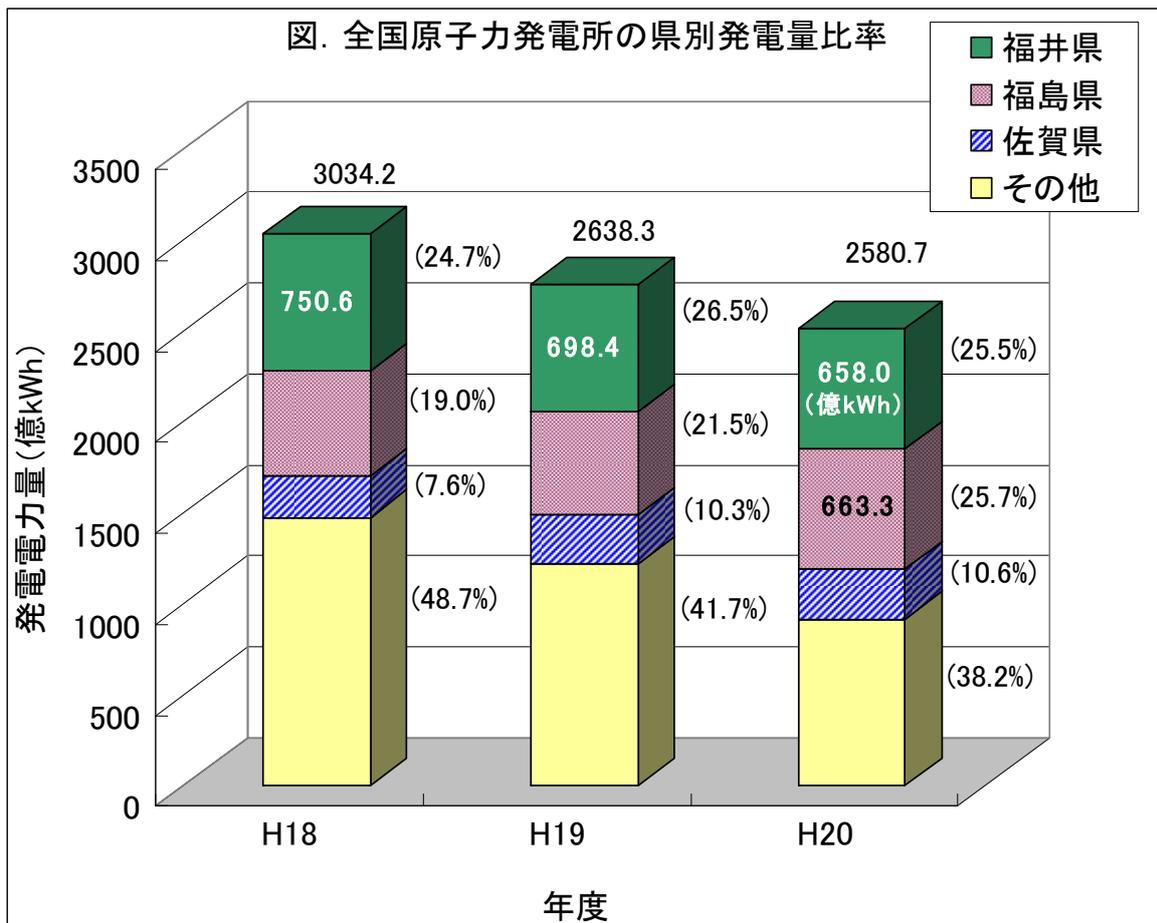
原子力発電所の稼働実績について

(平成 20 年度)

平成 21 年 4 月 17 日
原子力安全対策課

平成 20 年度の全国原子力発電所における発電電力量および設備利用率等の速報が、経済産業省原子力安全・保安院より公表されました。それによると全国の前年度実績は約 2,581 億 kWh [前年度実績；約 2,638 億 kWh]、設備利用率の平均は 60.0% [同；60.7%] となっています。

これに基づき全国の前年度実績に対する福井県内分の発電電力量の割合を算出すると、県内原子力発電所の発電電力量は、全国原子力発電所の発電電力量の約 25.5% [同；約 26.5%] を占めています。



問い合わせ先 (担当：神戸)
内線 2354・直通 0776(20)0314